

公表	事業所における自己評価総括表(児童発達支援)
----	------------------------

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス よりそい			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設に隣接する広場での運動療育	広いスペースを活かして運動療育を実施する事で、児童の体幹を鍛え、基礎体力の維持・向上を目指す取り組みを実施している。 また児童それぞれの体力や運動能力に合わせて、様々な運動内容やプログラムを提供出来る様になっている。	児童の個別差も理解しながら年齢別・特性別の効果的なアプローチを行い、児童の更なる体力の強化を目指す。
2	児童発達支援に沿った支援の実施	児童の成長や課題に合わせて、個別プログラムを実施している。主に遊びを通じた活動を行い、児童が楽しく参加する事で主体性を育み、自己肯定感や挑戦する気持ちを大切にしている声掛けを心掛けている。	専門職によるサポートにより、更に効果的な個別療育の実施を目指す。また得意分野の把握により、より前向きに活動に参加出来るプログラムの実施を行う。
3	保護者からの相談に向き合い、また児童の日頃の状況等について定期的な報告を実施している。	その日の様子だけでなく、学校への送迎時に報告を受けた内容についても漏れなくお伝えするように心掛けている。また速やかに報告すべき内容については適宜電話連絡を行い、会話を通じたコミュニケーションを図る事でご家族様に安心感を感じて頂ける様に努めている。	日常的に児童の状況を把握し、全職員が情報共有を行う事で、すべての児童をすべての職員で安全に見守る体制作りを確立する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の活動プログラムの工夫や、活動内容・行事内容の公表	SNS等で活動内容の公表を行っているが、公表内容が画一的で変化に乏しく、保護者様のニーズに応える事が出来ていない。	連絡帳の写真掲載機能を活用し、児童の日々の様子や取り組んでいる活動について積極的に公表を行う。またそれぞれの児童の興味や発達に合わせた活動内容の実施を心掛ける。
2	保護者同士の交流の機会が設けられていない。またきょうだい・家族ぐるみで参加出来るイベントの実施が出来ていない。	保護者様同士が交流できる機会を、事業所として設けられていない。	地域でのイベントや、家族ぐるみで参加出来るイベントの開催の立案・実施に向けて前向きに取り組む。
3	職員の配置については適切であるものの、支援に携わっている職員についての公表は行っていない。	法令の配置上は適切であるが、職員の体調不良等あり、その都度必要に応じて他部署、もしくは法人内のフォロー体制配置を行い運営している。	児童・保護者様が安心して頂ける様に職員体制の安定化を図るとともに、職員自身の様子についても公表可能なものについては公表を行い、保護者様に安心感を提供できるように心掛ける。